

13. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告いたします。

● 2013 年度の MSJ-SI につきましては、以下のように決定しました。

○ 2013 年度 MSJ-SI

テーマ : Development of moduli theory
(モジュライ理論の発展)

組織委員長 : 金銅誠之 (名古屋大学)

● 今年度の MSJ-SI は以下のように行われました。詳細は数学通信で改めて報告します。

○ 2011 年度 MSJ-SI

テーマ : Nonlinear dynamics
in partial differential equations

日時 : 2011 年 9 月 12 日 (月) ~ 21 日 (水)

場所 : 九州大学医学部百年記念講堂

組織委員 : 栄伸一郎 (委員長), 川島秀一,
隠居良行, 山田直紀, 仙葉 隆,
小林孝行, 三沢正史, 辻川 亨,
池島 良

プログラム等については以下のウェブページをご覧ください。

<http://mathsoc.jp/meeting/msjsi11/>

● 来年度の MSJ-SI の予定は以下の通りです。

○ 2012 年度 MSJ-SI

テーマ : Schubert calculus

日時 : 2012 年 7 月 17 日 (火) ~ 27 日 (金)

場所 : 大阪市立大学

学術情報総合センター 10 階

組織委員 : 成瀬 弘 (委員長), 池田岳,
大本 亨, 前野俊昭, 原田芽ぐみ,
栢田幹也, 鍛冶静雄, 岩瀬則夫

学術委員 : 柏原正樹, 谷崎俊之, 兼田正治,
Julianna Tymoczka

Summer School Invited Lecturers :

Sara Billey (Univ. of Washington)

Takeshi Ikeda (Okayama Univ. of Sci.)

Allen Knutson (Cornell Univ.)

Thomas Lam (Univ. of Michigan)

Frank Sottile (Texas A&M)

Invited Speakers :

Dave Anderson (Univ. of Washington)

Sami Assaf (MIT)

Anders Buch (Rutgers Univ.)

Peter Fiebig

(Universität Erlangen-Nürnberg)

Masaki Kashiwara (RIMS)

Syu Kato (Kyoto Univ.)

Maxim Kazarian

(V. A. Steklov Institute of Math.)

Bumsig Kim (KIAS)

Valentina Kiritchenko

(Higher School of Economics Moscow)

Leonardo Mihalcea (Duke Univ.)

Jennifer Morse (Drexel Univ.)

Satoshi Naito (Tokyo Institute of Tech.)

Masaki Nakagawa (Takamatsu

National College of Tech.)

Piotr Pragacz (Institute of Math.

Polish Acad. Sci.)

K. N. Raghavan (Chennai IMSc)

Mark Shimozono (Virginia Tech.)

Toshiaki Shoji (Nagoya Univ.)

Kelli Talaska (UC Berkeley)

Lauren Williams (UC Berkeley)

Alexander Yong (Univ. of Illinois at

Urbana-Champaign)

MSI-SI2012 のウェブページは以下の URL です。

<http://mathsoc.jp/meeting/msjsi12/>

● 2014 年度 MSJ-SI テーマ公募について
学術委員会では 2014 年度 (平成 26 年度) の MSJ-SI についてテーマ公募を行います。

締切は 2012 年 5 月 31 日 です。

学術委員会のウェブページ

<http://mathsoc.jp/comm/scientific/>

をご参照ください。

MSJ-SI は、以下の特徴を持ちます。

・数学会から 200 万円の助成金が提供されます。

・数学会事務局が事務手続きについて可能な範囲において援助を行います。(詳細については下記メールアドレスまで問い合わせ

してください。)

・東アジアの数学会の協力のもとで、韓国と台湾から限られた人数の大学院生、若手研究者を、数学会が招待しています。(この部分については数学会理事会の担当となっています。)

・専門家向けの講演とともに、大学院生・若手研究者向け、あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行うことを推奨しています。(これを MSJ-SI の方向とお考えください。)

公募に申請される方は、どうか締切までに、研究集会のテーマ、提案理由、主要な講演者(事前承諾不必要)を寺尾宏明(terao(at)math.sci.hokudai.ac.jp)までお送りください。また、このメールアドレスへの事前の問い合わせも歓迎いたします。

(学術委員長 寺尾宏明 記)